

2010年4月3日 日本共産党埼玉県委員会

みなさんこんにちは、日本共産党(といっしょに日本をかえるネットワーク埼玉)です。

民主党を中心にした鳩山政権が誕生して半年になりました。自民党政治はもうごめんだ、という思いが鳩山政権を生み出しました。しかし、ある学生は、「民主党に期待していたのに、政治と金の問題でガッカリした」と話していました。最近、どの世論調査でも、支持率がガクンと落ちているのは国民の期待が失望に変わったことを映しているのではないのでしょうか。

多くの若い人にとって、いまの社会は生きづらい、将来が見えない社会になっていると思います。若い世代のふたりに一人が派遣など非正規社員で、働いても働いてもまともな生活ができないほど安い給料で働かされています。そのうえ、景気が悪くなったと簡単にクビを切られ、派遣村のように住むところまで失う。仕事をなくしたら即ホームレス、そんな国はほかにはありません。一方で、正社員だって、死ぬほど働かされ、残業代はまともに出ない、有給休暇も取れなくてあたり前、いつリストラされるか・会社がつぶれるかわからないと不安を持っている状態ではないのでしょうか。人間らしく働きたい、生活できる給料がほしい、というのは正規・非正規にかかわらず、共通の願いではないでしょうか。

若い人を派遣などで安上がりには、正社員なら死ぬほど働かせて、大企業は内部留保を不況と言われながらも増やし続けていままや200兆円になりました。ためこみすぎたことで、経済の循環が滞ってしまっています。日本共産党は、労働者派遣法の抜本改正や、最低賃金の時給千円以上への引き上げ、中小企業の下請け単価の引き上げなど、働くものや中小企業が守られるルールをつくり、ごく握りの大企業が富を独り占めにする経済システムを転換させることをめざしています。日本共産党が提案する「ルールある経済社会」をつくってこそ、私たちの暮らしを改善し、日本経済を健全な発展の軌道にのせることができます。

そのためにもみんなが手をつなぎ、声をあげていくことが大事です。5月16日に「まともに生活できる仕事を!」「人間らしく働きたい」と願いをもちよる全国青年大集会が東京・明治公園で開かれます。ぜひみなさん、ご参加ください。

そして6月には参議院選挙が行われます。若者が希望を持てる日本社会をつくりたいという願いを「ルールある経済社会」をめざす私たち日本共産党と埼玉では伊藤岳予定候補へお寄せください。よろしく願います。